

DUET デュエット

盲導犬をもっと知ろう！ 2008.4 vol. 17



ハーネスに
“さよなら”って言った日

AIG アリコジャパン
アメリカンライフインシュアランスカンパニー



未来を描く コンサルティング。



アリコジャパンは盲導犬育成活動を支援しています。

アリコジャパンは1995年以来、盲導犬育成活動への支援を継続しておこなっています。

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-3 AIGビル Tel.03-3284-4111(代) www.alico.co.jp

DUET 2008年4月発行 編集人/篠田 林歌 全国盲導犬施設連合会発行
〒160-0007 東京都新宿区荒木町18-7 四谷長岡ビル202号室
TEL.03.5367-9770 FAX.03-5367-9771 www.gd-rengokai.jp 価額:50円/年1回4月発行

ハーネスって？

盲導犬として活動する為に
身に着ける器具です



ハーネスに “さよなら”って言った日

～盲導犬の役目を終えたエルの、新しいスタート～

エルが盲導犬になって、8年の月日が経った。

そして、その役目は無事果たされ

この日引退を迎える。

ハーネスに別れを告げ

エルはその生涯を振り返る…。

絵・大高郁子

文・前田利幸



ちよっぴりやんちゃな赤ちゃん犬エルは、毎日元気一杯あそんで、毎日を過ごしていました。そして一歳の誕生日を迎えると、いよいよ盲導犬の訓練を受けることになりました。

「もうどうけんって何？ これ
がハーネス？ かっこいいね」

「エル、おまえは盲導犬になるために生まれてきたんだよ。人間の中には病気や事故で目が見えなくなったり、さんぼにいたり、電車にのったりすることができない人がたくさんいるんだ。エルだって公園の中を走ったり、友達とあそんだりすることができなくなったりいまだらう？ いろんなところにいきたいだらう？ 目が見えない人はひとりで外を歩くって危ないことにたくさんあっちゃうんだ。でもハーネスをつけたお前がそばにいれば、その人は安心して、

あさんを守ってあげるよ」



エルはその日からあたらしいおかあさんといつも一緒。一生懸命おかあさんをまもりつづけました。エルはすっかり盲導犬として一人前に成長。毎日おかあさんと一緒に、公園を歩き、電車にのり、時にはレストランでお食事。海にもいったし、山にも登った。そして盲導犬としておかあさんとの楽しい毎日は過ぎていき、8年の月日が経ちました。

外に出たり、行きたいところに行くことができるんだよ。訓練はかんたんじゃないけど、がんばればそんな人の目のかわりになれるんだよ」

「えっ、人の目になるって？ うん、よくわからないけど…、もし盲導犬になったら、人のやくにたてるってことだよな？ そうかわかった。ぼくががんばって盲導犬になるよ」

こうして一年間の訓練を終えたエルは盲導犬として、目の見えないおかあさんと出逢ったのです。

「あなたがエルね。わたしが今日からあなたのおかあさん。あらとてもかわい顔しているのね」

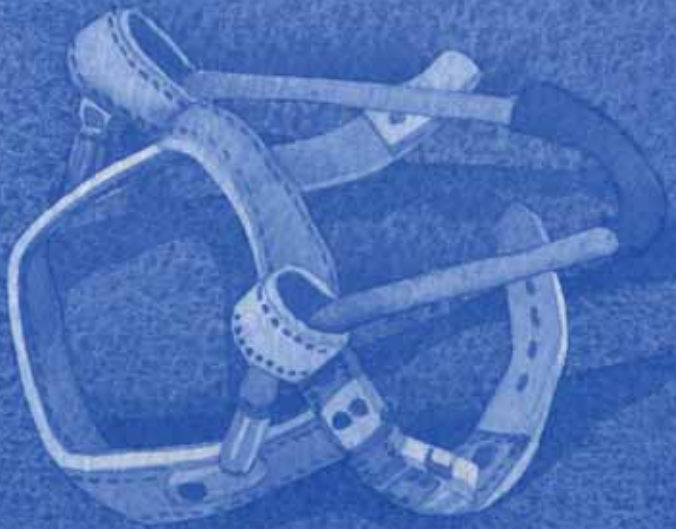
「えっ？ おかあさんは目がみえないのに、なんでかわいってわかるの」

「たしかに目はみえないけど、わかるわ。だって今日からわたしの子供なんだからね。自分の子供はかわいいにきまっているでしょ。今日から私とずっと一緒ね」

「うんそうだよ。どこかいきたいところある？ ぼくがいれば階段にしまずくこともないし、なにかにぶつかったりすることもないから安心して。今日からずっとおかあ



ハーネスに“さよなら”って言った日



「えっ、おかあさんとお別れしなきゃならぬの…。でも次のおかあさんがまつているんだよねわかったよ。長い間ほくのおかあさんでいてくれてありがとう。今度のおかあさんのこともまかせておいてね」

こうしてエルは長い盲導犬としての生活を終えました。そして、盲導犬としてではないけれど、また別の新しいおかあさんと一緒にくらすことになったのです。

「やあ、新しいお母さん、こんにちは。ほくはエルだよ。ほくは盲導犬なんだよ。前のおかあさんと長い間がんばってきたからもうベテランさ。だから安心してね。どこか行きたいところがあつたらこのハーネスをつければ…。あっ、ハーネスはっ」

「わたしは目が見えるからね。そんな心配はいらないんだよ」

「えっ、べついつのこと？ おかあさん、どうして僕にハーネスをつけないの？ ほくは盲導犬なんだよ。ほくはおかあさんの目のかわりなんだよ？ ハーネスがないと外を歩いたり、電車に乗ったりできないよっ」

「もういいのよ、エル。お前は盲導犬として、今までほんとによくがんばってきたわ。エルの仕事はおわたのよ。これが」

らは、おかあさんと一緒に楽しくすごしましょっ」

「ちがうよ。ボクがいちばんやりたいことは目の不自由なおかあさんのそばにいて、まもってあげることなんだ。前のおかあさんはいつもほくに、『ごつもまもってくれてありがとう、お前がいるから幸せだ』って言うてくれたんだ」

「エルが元気に走って、いっぱい遊んで、いっぱい眠っているのを見ていても…。おかあさんをとつても幸せにしているのよ。もう盲導犬じゃないけど、エルがいままでのおかあさんをいっぱい幸せにしてきたことが、わたしにとつても誇り。おまえと逢えて本当によかった」

「えっ、ほんとう？ ほくがハーネスをつけなくてもほんとうにおかあさん、幸せなんだね。盲導犬のしごとをしなくても、ずっと一緒にいられるんだね。一緒におさんぼしたり、遊んだりしてくれるんだね。……。わかったよ、おかあさん。ほく、これからもつとおかあさんを幸せにするよ」

「なんだか背中がかるくなっちゃったな。いままで幸せをつないでくれてありがとうっ」

「っハーネス、さよならっ」

この日からエルは、盲導犬としてではない、別の幸せをスタートさせたのです。

「エル、これでお別れよ。いつも私のそばにい続けてくれてありがとう。助けてくれてありがとう。明日からあなたには、また次のおかあさんがまつているわ。あなたと一緒に毎日おさんぼしたこと、電車に乗っていろんなところに

行ったこと、なにもかも楽しい思い出ばかり。次のおかあさんともいっぱい楽しい思い出をつくってちょうだい」

盲導犬の一生 盲導犬になるために 生まれて…

1 優秀な盲導犬を世に送るための、ここがスタート。盲導犬に適した、選ばれた繁殖犬から盲導犬は生まれる。繁殖犬の出産は一生のうち5〜6回。母犬のもとで生後2ヶ月まで過ごす。



2 その後およそ1歳まで、パピーウォーカーのもとに預けられる。「人間との信頼関係を築く」という、実は盲導犬にとって重要な第一歩となる。ボランティアは我が子をそだてるかのごとく、たくさんの愛情を注ぐ。

4 共同訓練が修了するといよいよ盲導犬としてのデビュー。8年〜10年という、一生のほとんどを盲導犬使用者と共に生きる。盲導犬使用者は、盲導犬とともに歩くことでより安全で快適に、外を歩いたり乗り物に乗ったりできる。



3 育成施設での訓練を終え、合格した犬は盲導犬使用者との共同訓練に進む。一生のほとんどを共にする、盲導犬使用者と、ここで初めて出会うのだ。そして互いに協力しあい、信頼を深めることが出来ればいよいよ卒業となる。



5 盲導犬は、10〜11歳を目安に引退する。引退犬飼育ボランティアの今井さんのもとで暮らすアンナも、まだまだアクティブだ。

加藤さん一家で生活する フェアリーとエヴァ

● 現役を終えても颯爽と歩く姿に…

「以前はパピーウォーカーをやっていたのですが、手放した子が現役を終えて再び一緒に暮らすことができたなら…という思い。引退犬ボランティアの数が少なかったこともきっかけの一つでした。引退犬は非常に優秀なのですが、大役を終えたことで本来の性格がだんだん出てくるような気がします。まるで仔犬時代に戻っていくような…。でも、なるべくリラックスさせてあげようと思います。まわりの方はフェアリーとエヴァが元盲導犬と知ると、『偉かったね』と言ってくれる。また、歩き方ひとつをとっても他の犬とは違っているようで、『さすが風格があるね』とも。よく見ると確かに2頭とも“誇らしげに颯爽と”歩いていますね。」 加藤さん談



盲導犬は引退後も こんなに元気！

引退犬
ボランティア

盲導犬という重要な役目を約10年勤めた後、犬たちはどんな生活を送るのだろうか。引退犬ボランティアの家庭でのんびりと…？ いやいや、現役時代にも増して元気に過ごしているようです！

今井さん一家で 暮らすアンナ



● いつも幸せそうな顔

「犬をこれまで飼った経験がなかったので、“しつけが出来る盲導犬”は安心感があります。アンナはいつも元気だし“苦勞”を感じたことはありません。逆に初心者の方に、犬の世話の仕方を教えてくれている感じ。うちにはネコが2匹いて、一緒にうまく生活できるかどうかの心配もありましたが、決して仲良くないものの、微妙な関係のままうまくやっています。きっと盲導犬が賢いからですね。ネコたちのほうが“先輩”だということを、わかっているような…。アンナには『大変な仕事を長い間続けてきて、本当にご苦勞さま』という気持ちでいます。あとは気ままにやってほしい。というか、実際気ままにやっているようだし、いつも幸せそうな顔していますよ。」 今井さん談

盲導犬は、 ボランティアの みなさんに ささえられています



全国の盲導犬訓練施設では、盲導犬の育成や現役後の生活のサポートについて、盲導犬になる直前の約二年間の訓練時期以外に関してはすべて、ボランティアの方々に協力をお願いしています。

まず繁殖犬の世話と、盲導犬候補の仔犬の出産をお手伝いいただく「**繁殖ボランティア**」、仔犬から訓練センターに入所するまでの間のお手伝いをいただく「**パピーウォーカー**」、盲導犬にならなかった犬を家庭で育てていただく「**キャリアチェンジ犬ボランティア**」、そして盲導犬として活躍した後のお世話をしていただく「**引退犬ボランティア**」など、さまざまなおボランティアの方のご協力によって盲導犬は一生を過ごすのです。

また、直接犬に関わることがないその他いくつものボランティアや**募金**、**寄付**なども、一頭でも多くの盲導犬を育てるための重要なボランティア活動になります。

これからも皆様には盲導犬のことをもっとご理解いただき、あたたかいご協力をお願いいたします。

※ボランティアの呼称は各加盟協会ごとに異なります。

毎日の外出は
啓発活動のため？

岡本和也



1 頭目
ハンナ (メス)

遺

伝性の病気で20歳すぎから普通の生活が困難になり始めたのですが、かつては選抜で甲子園にも出場するのですが、かつてはきだしとにかく外に出られない生活は耐えられなかった。でもヘルパーさんを頼むと金銭的にも負担が大きい。そこで盲導犬に目を向けてみたのです。

平成17年、最初にハンナと出会ったときは「しっかりしている犬だな」と感じました。ハンナと一緒に生活するようになってからは、日々の通院はもとより電車にも好きなときに乗ることが出来るようになったし、道を歩く時もスムーズ。今では毎日のように趣味であるスポーツジムにも通い、生活は充実しました。

ZARDを偲ぶ会へ

ハンナがいるだけで外出が億劫でなくなり、むしろ楽しみにさえ思えるようになりました。

飛行機での旅行もすでに何回か経験。去年の6月はZARDを偲ぶ会にも行ってきました。まるで健常時の生活に戻ったよう。これからも前向きな人生が送れそうです。

まわりの理解を深めるために

ハーネスをつけているときはしっかりしていても、まだ子供。少しくらい甘えさせてもいいと思っています。集中力をつけるためにもメリハリは必要です。

私の町では盲導犬がまだ少ないせいか、まわりは物珍しく見てしまう。法律があるせいか飲食店などで入店を断られることはあまりないものの、施設などで犬の待機場所がないなど、社会はまだまだ理解が出来ていないようですね。ですからその啓発活動のためにもこれからもどんどん外に出ようと思います。

盲導犬使用者からの メッセージ

20 歳のころ、急に視界を失った時には大変なショックでした。その後しばらくは家族

や仲間助けられながら生活をしてきたのですが、それから20年経ち「みんなに迷惑をかけたばなしではいられない」と思いはじめ、外国で盲導犬が活躍しているというニュースを見て「自分も…」と。しかし、当時(昭和47年)の日本はまだ盲導犬が少なく、九州には一頭もいなかった。そして、東京まで赴いて最初のパートナーであるロックと出会ったのです。

犬は好きだったし、自分自身に抵抗はなかった。しかし、まわりは盲導犬への理解がなく、苦労は耐えませんでした。飲食店、タクシー、宿泊についてはどれもほぼお断り。唯「国鉄(現在のJR)だけは乗ることができたのですが、それも条件つき。思い描いていた自由な生活は、決して自由ではありませんでした。

「外国のようになるには時間がかかる」そして、自らがその実績を作ることを決意したの

です。

どうしてもそれまでの10年選手と比べてしまうので、新人がやってくるたびに「大丈夫かな」という不安に駆られますが、4頭は性格こそ違えどみんな素晴らしい盲導犬。この36年間、道を歩いていて何かにぶつかったり、つまづいた、ということが一度もないのが私の自慢です。

子供達の教育にも役に立ってくれる

訓練はあくまで基礎。盲導犬の可能性はそこから広がるのです。愛情と信頼を持って接することで盲導犬としても成長して欲しいと思ふし、その過程を見ていくことが日々の楽しみでもあります。教師という職業柄もあって、そういう使命感を感じているのかも知れませんが。盲導犬は、子供達の情操教育にも役に立って来ています。

理想の生活に
一歩ずつ…

藤井健児



4 頭目

ロック(オス)
ローリー(メス)
セイル(メス)
フローリー(メス)

全国盲導犬施設連合会の主な活動報告

皆さんのご支援・ご協力で平成19年度の事業を行うことができ誠にありがとうございました。
今年度は新たに相談事業を追加、連合会活動の充実をはかりました。

「盲導犬普及啓発キャンペーン」を全国40ヶ所で実施

募金箱設置協力先のご協力を得、盲導犬デモンストラーションを中心に企業向け講習会等を積極的に実施しました。一般的に盲導犬と出会う機会が少ない現状を踏まえ、盲導犬への理解を推進する事業として本年度も積極的に取り組みます。



盲導犬普及のための広報誌を発行

- 「デュエット」16号を発行(年1回4月)盲導犬訓練前にお世話になるボランティアさん「パビーウォーカー」を特集しました。募金箱に常設し、ご自由にお取りいただいています。
- 季刊誌「盲導犬情報」53-55号を発行。「身体障害者補助犬法・改正法案」を中心にその動き等を発信しました。



盲導犬受入の促進

- 公共施設ほか小売店や飲食店等で補助犬受入を表示する「補助犬同伴可ステッカー」をつくり配布しました。
- 07年度盲導犬受入ポスターを作成し募金箱設置協力先に提示しています。

盲導犬訓練士(職員)の研修会実施

加盟施設の職員を対象に初任者・中堅の研修会を、九州、兵庫の協会を会場に開催し、知識の向上と相互交流をはかりました。今回の研修会は日本財団の助成を受け実施しました。



「補助犬法」の改正への行動

補助犬使用者団体と協力し進めてきた「補助犬法見直し」が11月28日の国会で承認されました。補助犬使用者とともに議会を傍聴しました。今回の改正は①相談・救済機関の設置(各都道府県に相談窓口ができます)②職場での受け入れ義務化(現行:受け入れ努力規定)の2点です。補助犬を取り巻く状況がまた一歩前進しました。

募金箱設置協力企業 (敬称略・あいうえお順)

アリコ、イズミヤ、イトーヨーカドー、エコス、ゲオ、サークルKサンクス、西友、たいらや、ダイエー、トステムビバ、長崎屋、フジ、ペットプラス(AHBグループ)

当連合会の活動は以上の企業のほか個人店舗設置の募金、企業や大勢の個人の皆様の寄付などのご協力により支えられ運営されています。

都道府県別の盲導犬の実働数は 965 頭 2007年3月31日現在

北 海 道...34	群 馬 県...5	富 山 県...5	山 川 県...5	三 重 県...11	鳥 取 県...10	福 岡 県...9	岡 崎 県...6
青 島 市...21	玉 川 市...46	石 川 県...26	山 梨 県...26	滋 賀 県...10	根 川 県...9	北 九 州 市...7	大 分 県...10
青 島 市...16	さいたま市...7	福 山 県...5	山 梨 県...5	京 都 府...9	岡 山 県...17	佐 賀 県...7	山 形 県...5
宮 城 県...5	千 葉 市...29	山 梨 県...12	山 梨 県...12	京 都 府...11	岡 山 県...18	長 崎 県...5	山 形 県...5
宮 城 市...3	東 京 都...85	山 梨 県...37	山 梨 県...37	大 阪 府...34	山 梨 県...13	長 崎 県...5	山 形 県...5
山 形 県...4	神 奈 川 県...20	山 梨 県...3	山 梨 県...3	大 阪 府...20	山 梨 県...14	長 崎 県...5	山 形 県...5
山 形 県...17	横 濱 市...20	山 梨 県...20	山 梨 県...20	大 阪 府...13	山 梨 県...7	長 崎 県...5	山 形 県...5
山 形 県...12	川 崎 市...6	山 梨 県...17	山 梨 県...17	大 阪 府...12	山 梨 県...16	長 崎 県...5	山 形 県...5
山 形 県...19	新 潟 県...24	山 梨 県...13	山 梨 県...13	大 阪 府...10	山 梨 県...9	長 崎 県...5	山 形 県...5
山 形 県...13				大 阪 府...10	山 梨 県...9	長 崎 県...5	山 形 県...5

社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会盲導犬委員会「平成18年度盲導犬訓練施設年次報告書」より

盲導犬に出会ったら こんなことに気をつけよう!

街や公園で盲導犬を連れた人に出会ったら…。「手助けをしてあげたい」という気持ちを皆さんお持ちだと思います。でも「どう対応したらいいのか」、また「何がしてあげられるのか」。これは盲導犬についての正しい知識がないと、なかなかうまく対応出来ないものです。



ハーネスをつけているときは“仕事中”

基本的に盲導犬がハーネスをつけているときは、仕事に集中しています。そんなとき盲導犬に声をかけたり触れたりしてしまうと集中力を欠き、安全に仕事が出来なくなってしまいます。またハーネスは盲導犬と盲導犬使用者をつなぐとても大切な道具。第三者がこれに触れると盲導犬使用者が判断を誤ってしまいます。かわいいと思っても、むやみに近づかず、あたたかく見まもるような心がけましょう。もちろん食べ物も決して与えないでください。盲導犬は盲導犬使用者とともに規則正しい生活を送っており、健康管理のために決められたものしか口にしないようにしています。



できる限りの協力を

盲導犬使用者の方が困っているような時は「何かお手伝いすることはありますか?」と先ず声を掛けて下さい。また、盲導犬は信号の状況を認識出来ません。そのため交差点で信号待ちをしている時、周囲から「赤ですよ」「青ですよ」と一声掛けていただけただけで大変助かります。前触れもなく突然、体や腕などに触るとびっくりしてしまいます。盲導犬使用者の方から助けを求められた時は、できる限りの協力をお願いします。



“補助犬 OK!”の気持ちはステッカーで表示を

全国盲導犬施設連合会では、身体障害者補助犬法の施行にあわせて、盲導犬や介助犬、聴導犬を受け入れることを示していただくため「補助犬同伴可ステッカー」を作成しました。本ステッカーは1枚25円にて配布しています。街中のあらゆる場所に温かい心を伝えるために、どうぞご利用ください。



加盟施設一覽



全国盲導犬施設連合会 www.gd-rengokai.jp

〒160-0007 東京都新宿区荒木町18-7 四谷長岡ビル202号室 TEL 03-5367-9770 FAX 03-5367-9771

財団法人 関西盲導犬協会

〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町犬飼末ヶ谷18-2
TEL 0771-24-0323 FAX 0771-25-1054

会長 串田 壽明 web.kyoto-inet.or.jp/org/kgdba

より効率的に盲導犬事業に取り組むため2008年1月から京都市内の事務局を亀岡市の訓練センターに統合し、当協会の拠点を一本化しました。盲導犬希望者や盲導犬使用者の期待に応えられる一層の努力をしております。



社会福祉法人 日本ライトハウス

法人本部 〒538-0042 大阪市鶴見区今津中2-4-37
TEL 06-6961-5521 FAX 06-6968-2059

行動 〒585-0055 大阪府南河内郡千早赤阪村東阪1202
訓練所 TEL 0721-72-0914 FAX 0721-72-0916

理事長 木塚 泰弘 www.lighthouse.or.jp

「自立と社会参加のためのパートナーシップ」を基本理念とし、視覚などに障害のある方が、尊厳をもってその人らしい生活ができ、積極的に社会参加をすることを共通の目標として活動しています。



社会福祉法人 兵庫盲導犬協会

〒651-2212 神戸市西区押部谷町押部24
TEL 078-995-3481 FAX 078-995-3483

理事長 田上 昭一 www.moudouken.org

平成13年に誕生した新しい協会ですが、役職員一同、情熱を持って盲導犬育成に取り組んでいます。また盲導犬希望者、使用者に誠実に対応し、それぞれのニーズにあったサービスを提供しております。



財団法人 九州盲導犬協会

事務局 〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-3-39
福岡市市民福祉プラザ内
TEL 092-714-3169 FAX 092-714-3176

総合訓練センター 〒819-1122 福岡県前原市東702-1
TEL 092-324-3169 FAX 092-324-3386

理事長 稲田 朝次 www.fgda.or.jp

「優秀な盲導犬を一頭でも多く、一日も早く育てたい」、創立25周年を迎える当協会の変わらぬモットーです。3年前オープンした総合訓練センターでは盲導犬使用者の皆様へ充実したサービスの提供に向け全力で取り組んでいます。



財団法人 北海道盲導犬協会

〒005-0030 札幌市南区南30条西8丁目1-1
TEL 011-582-8222 FAX 011-582-7715

会長 佐々木 紀夫 www.h-guidedog.org

最北端に位置する当施設は雪道歩行、在宅指導、老犬ホームなど、視覚障害者の支援と安心のために様々な取り組みに挑戦しています。待っている人達の笑顔のために、一刻も早く応えることが目標です。



財団法人 栃木盲導犬センター

〒321-0342 栃木県宇都宮市福岡町1285
TEL 028-652-3883 FAX 028-652-1417

会長 中山慶恵子 business3.plala.or.jp/guidedog

視覚障害者に対する地域リハビリテーションを重視し、地域に根ざした良質なサービス提供を心がけています。関東一円を中心に、盲導犬の育成・提供をはじめ、白杖歩行の訪問指導、生活訓練なども行っております。



財団法人 日本盲導犬協会

東京本部 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町21-3-3F
TEL 03-5452-1266 FAX 03-5452-1267

日本盲導犬総合センター 〒418-0102 静岡県富士宮市人穴381
TEL 0544-29-1010 FAX 0544-54-3030

神奈川訓練センター 〒223-0056 横浜市港北区新吉田町6001-9
TEL 045-590-1595 FAX 045-590-1599

仙台訓練センター 〒982-0263 仙台市青葉区茂庭字松倉12-2
TEL 022-226-3910 FAX 022-226-3990

理事長 井上 幸彦 www.moudouken.net

盲導犬訓練士学校の卒業生も本格的に訓練を開始。日本盲導犬総合センターも始動1年。平成20年度年間50頭の育成を目指し、繁殖、訓練、引退後のケアまで、多角的に取り組んでいます。センター見学も是非どうぞ。



財団法人 中部盲導犬協会

〒455-0066 名古屋市港区寛政町3-41-1
TEL 052-661-3111 FAX 052-661-3112

会長 神作 博 www.tcp-ip.or.jp/~chubu

創立38年。「両手持ち」を特徴とした盲導犬の育成。かつて身を挺して盲導犬使用者を交通事故から守った盲導犬「サーブ」を育てる。視覚障害者の「安全なガイド」と「心の癒し」を保証するために日々努力しています。

